

## 議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 第三回運営会議
議 事	①長野市中心市街地活性化基本計画〔長野地区〕（素案）への意見提出について ②協力会員の申し込みについて ③今後の進め方について
日 時	平成19年2月26日（月）10：00～11：30
場 所	長野商工会議所 会議室（2階）
出席者 （敬称略）	<p>（運営委員）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社まちづくり長野 塚田国之（会長）、越原照夫</li> <li>・長野商工会議所 青木恵太郎（副会長）、渡辺晃司（副会長）</li> <li>・長野市役所 中村治雄、小池睦雄</li> <li>・長野経済研究所 平尾勇〔欠席〕</li> </ul> <p>（タウンマネージャー）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社まちづくり長野 服部年明</li> </ul> <p>（監査役）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野信用金庫 西澤章夫〔欠席〕</li> </ul> <p>（事務局）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社まちづくり長野 羽田稔</li> </ul> <p>（市担当課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり推進課 横畷俊明、久保幸一、今井憲昭、高野毅</li> <li>・商工振興課 島田稔、伝田賀弘、小林弘明、北原孝</li> </ul> <p style="text-align: right;">【計16人】</p>
資 料	<p>①会議次第</p> <p>②「長野市中心市街地活性化協議会 第一回総会」開催内容 【資料1】</p> <p>③富山市中心市街地活性化協議会「答申」の写し 【資料2】</p> <p>④新規申込者一覧及び入会申込書 【資料3】</p>
内 容	<p>議事① 長野市中心市街地活性化基本計画〔長野地区〕（素案）への意見提出について ～事務局より、資料1、2について説明～</p> <p>（委員A）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市中心市街地活性化基本計画の素案がまとまり、市から協議会の意見提出について 諮問を受けた。活発な意見をお願いしたい。</li> <li>・中活本部とは、ある程度、話が進んでいるのか。</li> </ul> <p>（市担当課）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前相談はしているが、認定は非常にハードルが高い。</li> </ul>

(委員B)

- ・中活本部にあがってから、次に各省庁とやり取りする。53の基本計画事業をあげても、取捨選択されると思われる。

(委員A)

- ・富山市は中活エリアを拡大して、集合住宅や路面電車を組み込んだりしているが、長野は、エリア拡大についてはどうか。

(市担当課)

- ・認定には、どの場所でいつから誰がやるかその効果はどうかなど具体性を求められる。エリア拡大し、ただ事業をあげていても、それぞれ、予定地、スケジュールなど説明がつかないといけない。

(委員A)

- ・実際には中活指定エリアの外周に、マンション、開発計画がある。

(委員C)

- ・緑町エリアでは、緑町通りで指定エリアの線を引いているが、エリア内とする許容範囲はどこまでか。

(委員A)

- ・通りの東側で空き店舗活用の話が出たが、中活エリア外なので補助金の対象とならないという具体的な話もでている。

(市担当課)

- ・エリア設定は長野市の中心市街地の本当に活性化しなきゃいけない場所はどこかを考慮する必要がある。街中居住という面では広げるという考えもあるが、では、中央通りの商店街はどうかということになる。

(委員A)

- ・新たに集合住宅、ケアセンター等をつくるとなると、実際には周辺の方が土地はあるのが実態ではあるが…。

(タウンマネージャー)

- ・中活エリア内で、そういう計画を立てる人はいないか。

(市担当課)

- ・間違いなく5年以内にやる、来年やるという人がいればいいが、時期は分からないがこの辺りでやるという計画では基本計画記載は難しい。事業計画が具体的にできた時点で、追加であげていくことになる。

(タウンマネージャー)

- ・四つの目標の中で、一つか二つの事業が入っていて、後は時期未定だがこういう計画があるということか。

(委員C)

- ・シネコンができ、権堂の映画館も動きが出る可能性があるが、基本計画の素案には全く入っていない。計画認定後に、現実的に5年以内にできる事業が出た場合、追加していくということか。

(委員 A)

- ・今は基本計画に書けないが、そういう話は計画記載に関係なく現実には動いていく。

(市担当課)

- ・計画追加はできるが、仮に認定を 5 月に受けて 6 月に変更申請というのはいできない。年間である程度定期的に、半年に一回くらい市で精査しまとめるなどして追加申請することになる。

(委員 D)

- ・事業が具体化した時点で追加申請していくのは今までも同じ。

(委員 A)

- ・映画館の話など後で計画が出て来たときは追加申請していくということか。映画館跡地は上手に考えていかないと権堂の将来を決める話である。

(タウンマネージャー)

- ・基本計画申請時に、補助金申請時のような具体的な事業計画が書けないのは全国どこでも同じ悩みになっている。法改正からわずか半年で具体的な計画はなかなか出せない。

(委員 A)

- ・基本計画事業をソフト事業とハード事業に分けるのは難しいか。

(委員 B)

- ・それは可能ではないか。

(委員 A)

- ・絞り込むと優先順位をつけやすい。基本的に問題となるのはハード事業ではないか。

(市担当課)

- ・ソフト事業でも例えばイベント事業といっても毎日やっているわけではないし、それが善光寺の参拝客にどうつながるのか、具体的に数値として見えてこないといけない。
- ・ハード事業でも小路を整備したとしてもどうして歩きたくなるにつながるのか、通りが広がったとしても通行量は増えないのではないか、などが問われる。
- ・事業がどこにどういう効果が出るのか、そこに何かプラスアルファを求められる。

(委員 A)

- ・ぱていお大門前とか実際に整備しているところは通行量が増えている。実績はあるという話をしていくしかないと思う。
- ・素案のテーマ、四つの目標はうまく出来ていると思う。

(委員 E)

- ・事業主体は誰かと言われれば、明確なものはあまりないのが現実。まちづくり長野の存在を拡大充実してやっていくのはどうか。出来ない事業を、皆引き受けるとか。

(委員 D)

- ・表参道軸をどうするかという論議をすれば、波及事業がたくさん出てくる。例えば歩行者優先道路化事業が具体的にできれば、つながる事業がたくさんある。それが現時点で出せるかどうかは難しいが。

(タウンマネージャー)

- ・柱を決めて、申請事業の優先順位をどうしていくか。

(委員 E)

- ・総会の出席者の意見は、協議会に期待をされていて優先順位を決めておけば一気に進むのではないかという様子が見えた。

(委員 B)

- ・総会の意見の中で具体化の可能性があるもの、明確なものがあれば追加で入れていく。

(事務局)

- ・協議会意見書は、総会、運営会議での意見をもとに来週の後半(3月9日)までにはまとめる。3月23日の計画策定委員会では報告できるスケジュールとなる。

——協議会意見書提出について、承認。

## 議事② 協力会員の申し込みについて

～事務局より、資料3について説明～

(委員 A)

- ・基本的には極端な団体でない限り、広く加入を認めていただきたいと思っているが、いかがか。

(事務局)

- ・準会員と協力会員の違いだが、準会員は、基本計画事業者、密接な関係を有する者としている。各会員の申込条件をもう少し明確にしたほうがいいか。

(委員 A)

- ・事業が具体化した時点で協力会員から準会員に移ってもらえばいいと思う。会員の種別をあまり難しくしないほうがいい。
- ・各事業が動き出せばいろいろな調整機能が出てくるので、そのときは協力会員の方には、準会員になってもらわないといけない。

——入会申込者について、全て入会承認。

## 議事③ 今後の進め方について

～意見書提出前の運営会議開催について

——意見書案を稟議等により調整。必要があれば会議開催。

以上